

## ウエストパック バンキング ADR(WBK)

【セクター】 金融

【市場】 NYSE

## 【企業概要】

オーストラリアの大手銀行の一角で、オーストラリアで最古の銀行であり、最古の企業でもあります（図表1）。総合銀行業務および貯蓄銀行業務に従事、投資ポートフォリオの運用管理と顧問業務、保険サービス、消費者金融、マネーマーケット関連サービスなどを個人、企業向けに提供しています。1,400万件近くの顧客に1,200以上の店舗でサービスを行い、貸出残高は7,000億豪ドルに達しています。19年9月期の国別収益は、オーストラリア84%、ニュージーランド12%、その他4%です。

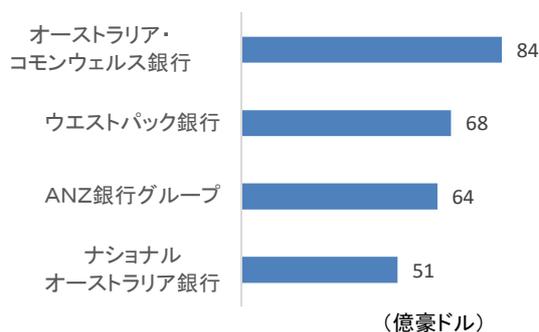
【業績】（単位：収益、純利益は百万豪ドル、EPS、DPS、BPSは豪ドル、ROE、自己資本比率は%）

| 決算期      | 収益     | 純利益   | EPS  | DPS  | BPS  | ROE  | 自己資本比率 |
|----------|--------|-------|------|------|------|------|--------|
| 18年9月期   | 22,223 | 8,149 | 2.32 | 1.88 | 18.8 | 13.0 | 7.3    |
| 19年9月期   | 20,794 | 6,798 | 1.90 | 1.88 | 18.8 | 10.5 | 7.2    |
| 20年9月期予想 | 21,240 | 7,256 | 2.02 | 1.61 | 19.3 | 10.7 | -      |

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【主要指標】

図表1 豪州大手銀行の純利益（前期実績）



図表2 豪州大手銀行の配当利回り（今期予想）

|                       | 1株当たり<br>配当(予想)<br>(豪ドル) | 配当利回り<br>(%) |
|-----------------------|--------------------------|--------------|
| ウエストパック銀行             | 1.61                     | 6.06         |
| ナショナル<br>オーストラリア銀行    | 1.66                     | 6.09         |
| ANZ銀行グループ             | 1.57                     | 6.18         |
| オーストラリア・<br>コモンウェルス銀行 | 4.28                     | 5.31         |

注：オーストラリア・コモンウェルス銀行は19年6月期、その他は19年9月期です。（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

注：オーストラリア市場の11/19（火）終値によります。（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【会社の見方】

オーストラリアの上場企業には高配当のものが多く、株式市場ではこの観点から注目されることが多いようです。図表2は、オーストラリア市場に上場する大手銀行の配当利回りの比較で、11/19（火）の株価による予想配当利回りはいずれも5%を超える高水準となっています。同社の配当は通常年2回、7月と12月に支払われます。19年9月期下半期の配当は、11/12（火）が権利落日、12/20（金）が支払い開始日の予定です。

## 【見通し・注目点】

19年9月期の純利益は前年同期比16%減でした。同社の外務員がサービスを提供していない顧客の口座から手数料を徴収していた問題に関して、顧客への返金を進めて金利収入が減少したほか、個人向け金融アドバイス事業の一部で撤退、問題の解決のために引当金を積んだ影響が出ています。一時的要因を除く調整後純利益は同4%減です。20年9月期の見通しは、オーストラリアの20年GDP成長率がトレンドを下回る2.4%程度、住宅建設のシクリカルな縮小が続くなど、事業環境は厳しめとなることが想定されています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/11/20)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮してのものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。